

スパークス・新・国際優良日本株ファンド (愛称 厳選投資)

追加型投信／国内／株式

お客様向けレポート
2023年8月

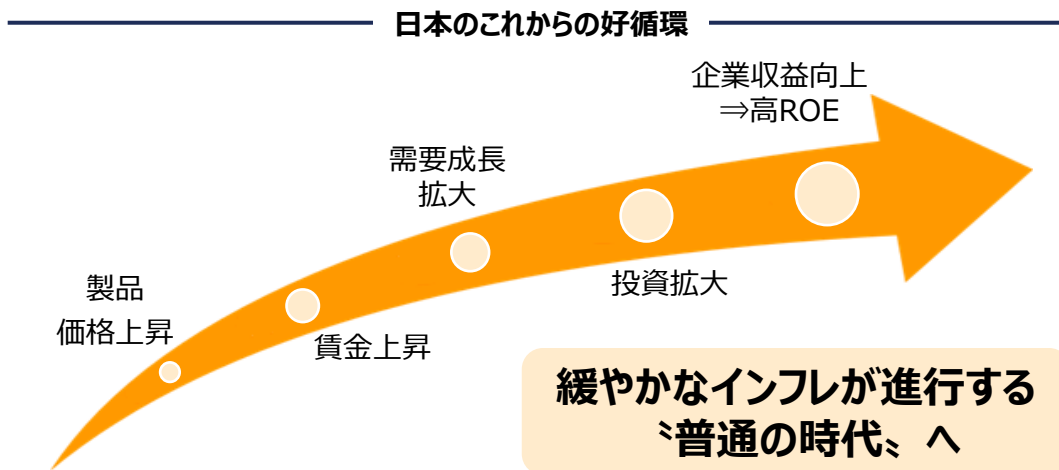
特化型

スパークス・アセット・マネジメント株式会社

インフレによって大転換期を迎える日本株式市場

株式とは、一般的にインフレ率がプラスであれば何倍にもなり得る資産です。日本株式市場が長期間低迷していたのは約30年続いたデフレに起因します。

しかし、ここから緩やかなインフレが進行する「普通の時代」が始まると当ファンドでは考えています。デフレ環境下で抑制されていた賃金上昇や投資拡大など新たな価値を創造する時代が、「今」やってきました。



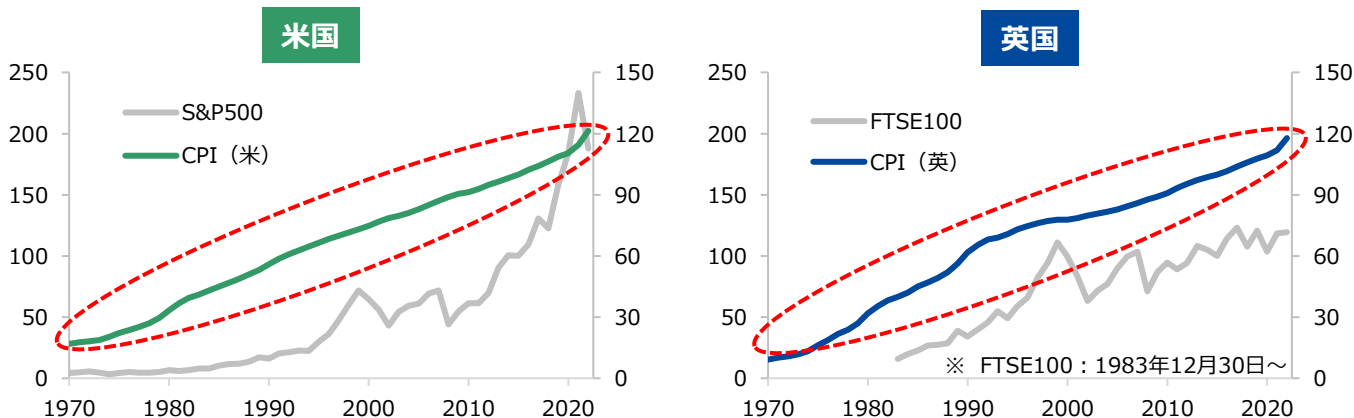
長年にわたってインフレ率がプラスだった世界の株式指数は過去最高値を更新し続けています。これは継続的なインフレの中で起こる「当たり前の動き」です。

2023年の日本株式市場は、日経平均30,000円台を超えて33年ぶりの最高値を更新しましたが、これは持続的なインフレによる通過点にしか過ぎないとスパークスは考えています。

今後、日本株式市場が「下落する心配」よりも「上昇する心配」をするべきではないでしょうか。

各国のCPIと株価指数

(1970年～2022年 ※右軸：CPI、左軸：株価指数)



長期的なインフレによる株式指数の上昇は
「当たり前の動き」

※ 上記は当ファンドへの理解を深めていただくためのご参考資料です。全てのケースを網羅したものではなく、過去の実績等は将来を保証、示唆するものではありません。
※ 各国のCPI、株価指数は2015年を100として指数化しています。

出所：スパークス・アセット・マネジメント、FactSet Pacific Inc.、Fundmark

スパークス・新・国際優良日本株ファンド (愛称 厳選投資)

追加型投信／国内／株式

お客様向けレポート
2023年8月

特化型

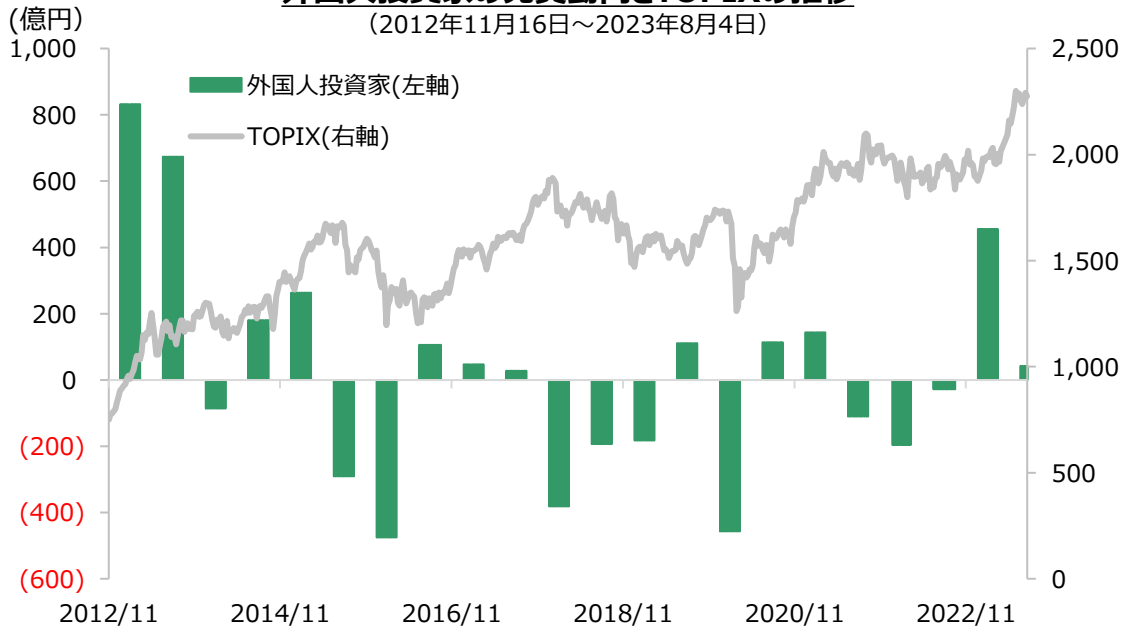
スパークス・アセット・マネジメント株式会社

投資家別売買動向からみる日本株式市場への期待

外国人投資家の日本株売買動向をみると、アベノミクスによる買い越し分を十分売り越してきたことやインフレなどによる企業業績回復期待、東証による企業への資本効率改善要請などの追い風を受け、今後さらに日本株買いへと転じてくる可能性が高いと期待されます。

外国人投資家の売買動向とTOPIXの推移

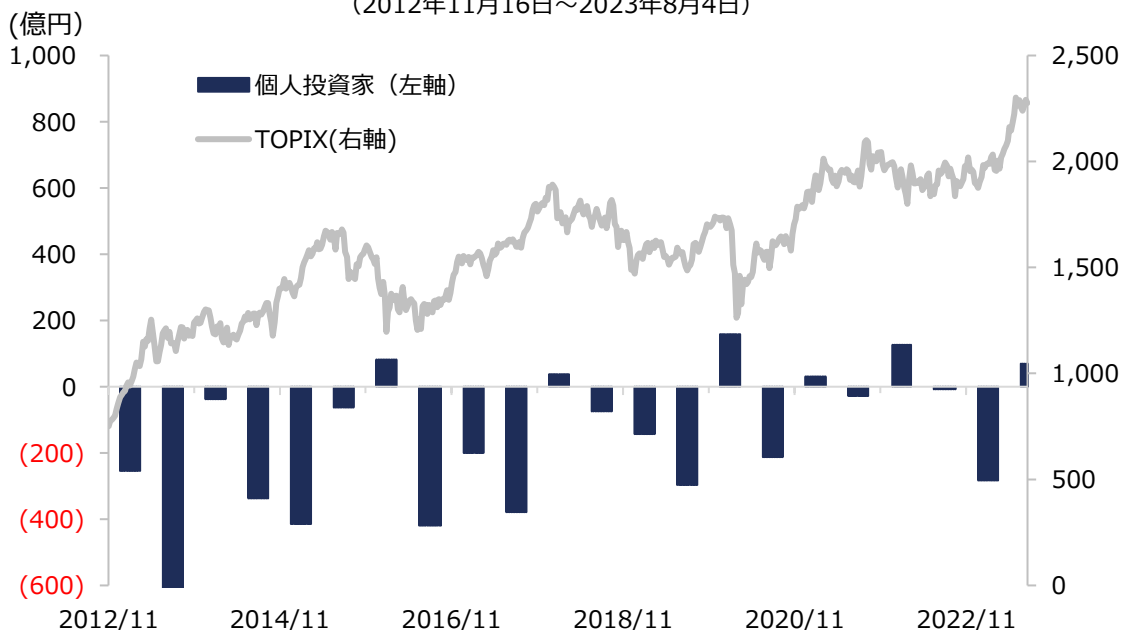
(2012年11月16日～2023年8月4日)



個人投資家の日本株売買動向をみると、アベノミクス以降売り越し額が多い状況が続いていましたが、直近数年は大きな売り越しも少なくなってきたことや、今後のインフレ圧力で株式投資への魅力が高まることから継続的な日本株買いが期待されます。

個人投資家の売買動向とTOPIXの推移

(2012年11月16日～2023年8月4日)



※ 外国人・個人投資家の売買動向は、傾向を見るために週次データを6ヶ月分合計した値を表記しています。直近値は2023年7月3日から2023年8月4日までの合計値です。

※ 上記は当ファンドへの理解を深めていただくための参考資料であり、過去の実績等は将来の結果をお約束するものではありません。

出所： 各種資料、スパークス・アセット・マネジメント

スパークス・新・国際優良日本株ファンド (愛称 厳選投資)

追加型投信／国内／株式

お客様向けレポート
2023年8月

特化型

スパークス・アセット・マネジメント株式会社

当ファンドの運用状況

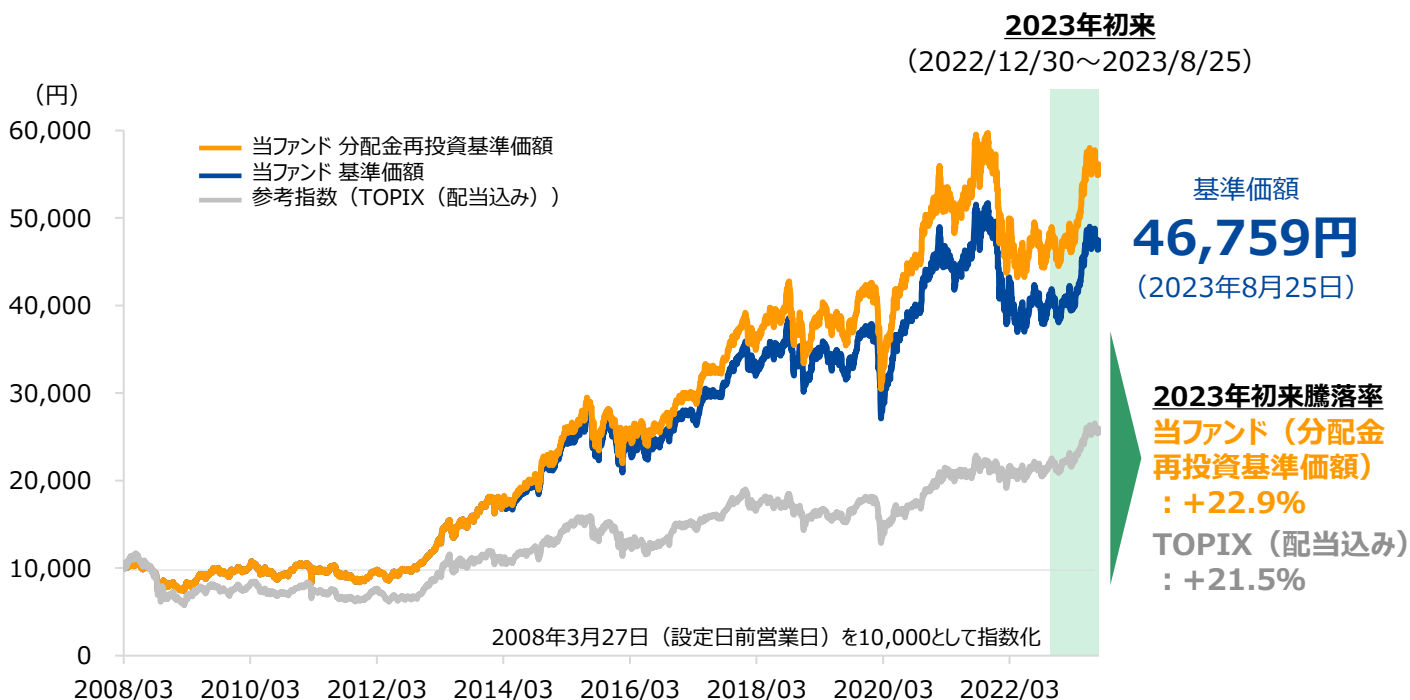
当ファンドの年初からのパフォーマンスは参考指数であるTOPIX（配当込み）を上回って推移しており、同期間でプラス寄与した組入銘柄は、三菱商事、日立製作所、ソニーグループなどです。

過去30～40年続いたデフインフレ・金利低下が終わりを迎えたと考え、2022年以降は従来よりも積極的な組入銘柄の入れ替えを行いました。当ファンドのパフォーマンスが改善傾向にあるのは、これら一連の投資行動が少しずつ成果を出し始めているためと考えています。

当ファンドのポートフォリオは、長期的に成長が期待できる確信度の高いグローバル企業に投資しており、中長期的にTOPIXを上回る成長を遂げていくという考えに変わりはありません。

当ファンドの基準価額と参考指数の推移

(2008年3月27日～2023年8月25日)



当ファンド組入上位5銘柄

(2023年7月末)

銘柄総数：26銘柄

順位	コード	銘柄	保有比率
1	6501	日立製作所	9.5%
2	6758	ソニーグループ	9.0%
3	8058	三菱商事	8.2%
4	3382	セブン&アイ・ホールディングス	6.7%
5	4527	ロート製薬	4.7%

当ファンドと参考指数のROE

(2023年7月末)

	実績ROE*
当ファンド	11.4%
TOPIX (配当込み)	8.4%

* 実績ROEは作成時点で取得可能なデータを元に算出しています。

※ 基準価額は信託報酬控除後です。

※ 分配金再投資基準価額は信託報酬控除後のものであり、税引前の分配金を再投資したものと計算したものです。

※ 参考指数（TOPIX（配当込み））は当ファンドのベンチマークではありません。

※ 保有比率は対純資産総額をもとに計算しています。

出所：スパークス・アセット・マネジメント、東洋経済、FactSet Pacific Inc.



スパークス・新・国際優良日本株ファンド (愛称 厳選投資)

追加型投信／国内／株式

お客様向けレポート
2023年8月

特化型

スパークス・アセット・マネジメント株式会社

■ 基準価額の変動要因

当ファンドは、主として国内の株式などの値動きのある有価証券に投資しますので、ファンドの基準価額は変動します。従って、投資者の皆さまの投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金と異なります。

ファンドが有する主な変動要因は、次の通りです。※変動要因は下記に限定されるものではありません。

- 株価変動リスク ● 集中投資のリスク ● 信用リスク ● その他の留意事項（システムリスク・市場リスクなどに関する事項）
- ※ 基準価額の変動要因（投資リスク）は、上記に限定されるものではありません。

■ ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用	
購入時手数料	購入申込受付日の基準価額に3.3%（税抜3.0%）を上限として販売会社が定める手数料率を乗じて得た額とします。 ※詳しくは販売会社までお問い合わせください。 購入時手数料は、商品の説明、販売の事務等の対価として販売会社が受け取るものです。
信託財産留保額	換金申込受付日の基準価額に対して0.3%の率を乗じて得た額をご負担いただけます。
投資者が信託財産で間接的に負担する費用	
運用管理費用（信託報酬）	日々の信託財産の純資産総額に対して年率1.804%（税抜1.64%）を乗じて得た額とします。 【信託報酬の配分：内訳（税抜）】 委託会社：年率0.90%、販売会社：年率0.70%、受託会社：年率0.04% 運用管理費用（信託報酬）は、ファンドの計算期間を通じて毎日計上され、ファンドの基準価額に反映されます。なお、毎計算期間の最初の6ヶ月終了日および毎計算期末または信託終了の時に、信託財産から支払われます。 運用管理費用（信託報酬）＝運用期間中の基準価額×信託報酬率
監査費用 印刷費用	監査費用、印刷費用などの諸費用は、ファンドの純資産総額に対して年率0.11%（税抜0.10%）を上限とする額がファンドの計算期間を通じて毎日計上され、ファンドの基準価額に反映されます。なお、毎計算期間の最初の6ヶ月終了日および毎計算期末または信託終了の時に、信託財産から支払われます。 ※監査費用：ファンドの監査人に対する報酬および費用 印刷費用：有価証券届出書、目論見書、運用報告書等の作成、印刷および提出等に係る費用
その他の費用・ 手数料	組入有価証券の売買委託手数料、信託事務の諸費用等は、その都度信託財産から支払われます。これらの費用は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。 ※組入有価証券の売買委託手数料：有価証券の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 信託事務の諸費用：投資信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用および受託会社の立替えた立替金の利息

※当該手数料等の合計額については、ファンドの購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することができません。

お申込みの際は投資信託説明書（交付目論見書）を必ずご覧ください。

<特化型に関して>

当ファンドは、一般社団法人投資信託協会「投資信託等の運用に関する規則 信用リスク集中回避のための投資制限の例外」を適用して特化型運用を行います。そのため、一般のファンドにおいては、一の者に係るエクスポージャーの投資信託財産の純資産総額に対する比率として10%を上限として運用を行うところを、当ファンドにおいては、35%を上限として運用を行います。

スパークス・新・国際優良日本株ファンド (愛称 厳選投資)

追加型投信／国内／株式

お客様向けレポート
2023年8月

特化型

スパークス・アセット・マネジメント株式会社

■ファンドの関係法人について

- 委託会社 スパークス・アセット・マネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第346号
（加入協会）一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、日本証券業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会
- 受託会社 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 販売会社 下記一覧参照

販売会社	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 第二種 金融商品 取引業協会
野村證券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第142号	○	○	○	○
auカブコム証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第61号	○	○	○	○
株式会社SBI証券※1	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第44号	○	○	○	○
岡三証券株式会社※2	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第53号	○	○	○	○
株式会社きらぼし銀行	登録金融機関 関東財務局長（登金）第53号	○	○		
株式会社きらぼし銀行 （委託金融商品取引業者 きらぼしライ フデザイン証券株式会社）	登録金融機関 関東財務局長（登金）第53号	○	○		
きらぼしライフデザイン証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第3198号	○			
株式会社熊本銀行	登録金融機関 九州財務局長（登金）第6号	○			
株式会社静岡銀行	登録金融機関 東海財務局長（登金）第5号	○	○		
株式会社十八親和銀行	登録金融機関 福岡財務支局長（登金）第3号	○			
株式会社SBI新生銀行 （委託金融商品取引業者 株式会社 SBI証券）	登録金融機関 関東財務局長（登金）第10号	○	○		
株式会社SBI新生銀行 （委託金融商品取引業者 マネックス証 券株式会社）	登録金融機関 関東財務局長（登金）第10号	○	○		
損保ジャパンD証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第106号	○			
株式会社千葉興業銀行	登録金融機関 関東財務局長（登金）第40号	○			
東海東京証券株式会社※1	金融商品取引業者 東海財務局長（金商）第140号	○	○		○
株式会社東京スター銀行	登録金融機関 関東財務局長（登金）第579号	○	○		
とちぎんT T証券株式会社※3	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第32号	○			
西日本シティT T証券株式会社	金融商品取引業者 福岡財務支局長（金商）第75号	○			
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第152号	○		○	
株式会社福岡銀行	登録金融機関 福岡財務支局長（登金）第7号	○	○		
松井証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第164号	○	○		
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第165号	○	○	○	○
株式会社みずほ銀行	登録金融機関 関東財務局長（登金）第6号	○	○		○
水戸証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第181号	○		○	
LINE証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第3144号	○	○		
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第195号	○	○	○	○
スパークス・アセット・マネジメント株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第346号	○		○	○

※1 株式会社SBI証券、東海東京証券株式会社は、一般社団法人日本STO協会に加入しています。

※2 岡三証券株式会社は、一般社団法人日本暗号資産取引業協会に加入しています。

※3 とちぎんT T証券株式会社は、2022年10月3日以降新規の購入申込受付を停止しております。



スパークス・新・国際優良日本株ファンド (愛称 厳選投資)

追加型投信／国内／株式

お客様向けレポート
2023年8月

特化型

スパークス・アセット・マネジメント株式会社

■ 指数に関して

東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

東証株価指数 (TOPIX) は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークです。TOPIXは、株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社 (以下「J P X」といいます。) の知的財産であり、J P X は TOPIX の算出もしくは公表の方法の変更、TOPIX の算出もしくは公表の停止または TOPIX の商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

当資料はお客様向け資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書 (交付目論見書) および目論見書補完書面をお渡ししますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。従って、元本が保証されているものではなく、組入れた有価証券の価格が下落する場合や、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写をすることを禁じます。当ファンドに関する投資信託説明書 (交付目論見書) のご請求、お問合せは販売会社まで。

【お問い合わせ先】 スパークス・アセット・マネジメント株式会社

ホームページ <https://www.sparx.co.jp/> 電話番号 : 03-6711-9170 (受付時間 : 営業日 9 : 00 ~ 17 : 00)